

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-5-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管課	長寿福祉課
施策の目指す姿		高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています			
<p>■ 施策評価シート(平成29年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。 十分に機能しているとは言えない。例えば、「支援を行った」結果「どうなったのか」までであるとわかりやすい。また、本施策の範囲が広いと、行政がなすべきことを見極めることができず、課題が明らかになっていない印象を受ける。</p> <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 「①市民ニーズや市の関与の必要性・・・」の欄に老人クラブについて記載されているが、成果「C」であることについて、どう改善するのかまで記載する必要がある。 「新たに取り組むべき事業・・・」の欄に「介護サービス事業所での人手不足解消を図るために介護人材確保事業が必要」とあるが、根拠の記載がない。人手不足は全国的、一般論的なことであり、花巻市の現状として、「必要数〇人のところ〇%充足している」など具体的な記載があるとわかりやすい。必要に応じて、事業所へのアンケート結果などでもよい。</p> <p>「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。 成果指標「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」について、背景・要因の分析が不足している。本施策の事務事業だけで高齢者の「生きがい」を判断することは困難であり、生涯学習分野など本施策以外の要素を勘案した分析も必要である。</p> <p>「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 介護サービス事業所での人材不足の解消については、支援内容を分かりやすく記載する必要がある。例えば、「奨学金返還者への支援」については、どういう人が対象となるかなどを記載しないと誤解される可能性がある。 さらに、定着率の向上に関する対策も必要である。</p> <p>●シート記載内容全般について 使われている言葉がわかりにくい。例えば、「在宅医療介護連携推進会議」は誰がどのような対応をするのか、「顔の見える関係づくり」とは具体的にどういったことなのかなど、わかりやすい表現になると良い。 似たような事務事業名で区別しづらいため、副題を付けるなどして事業内容をイメージすることができるようにしてはどうか。</p>					